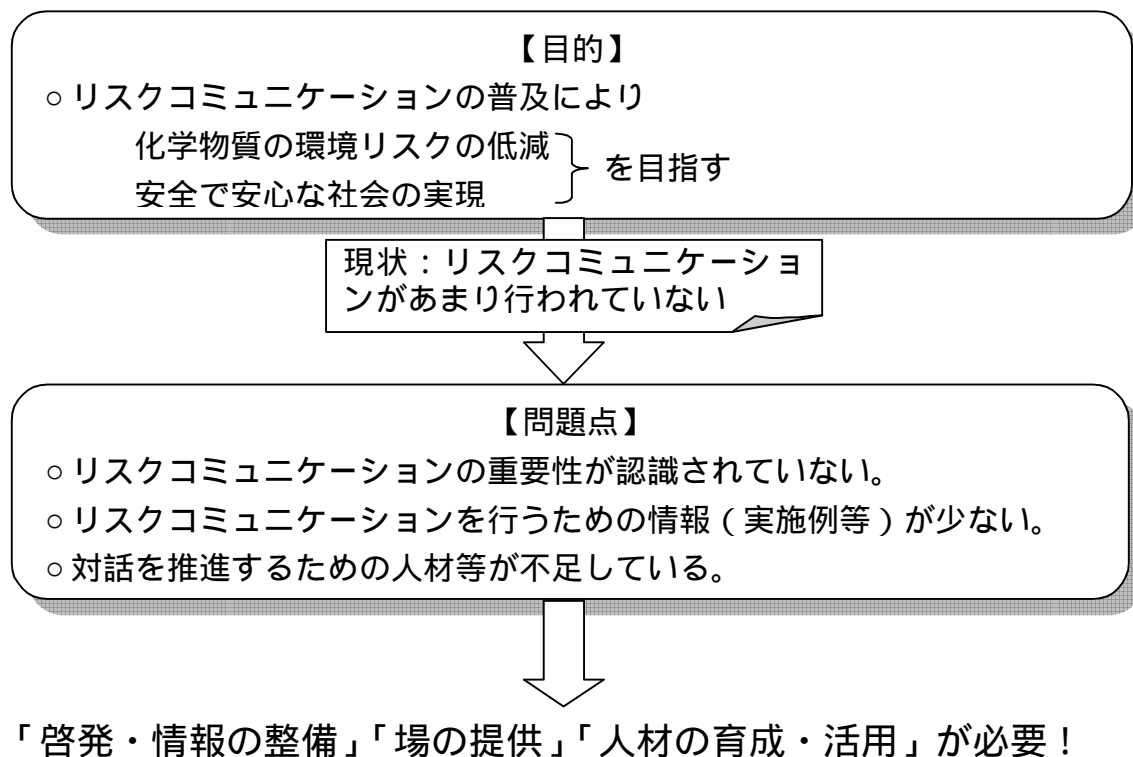


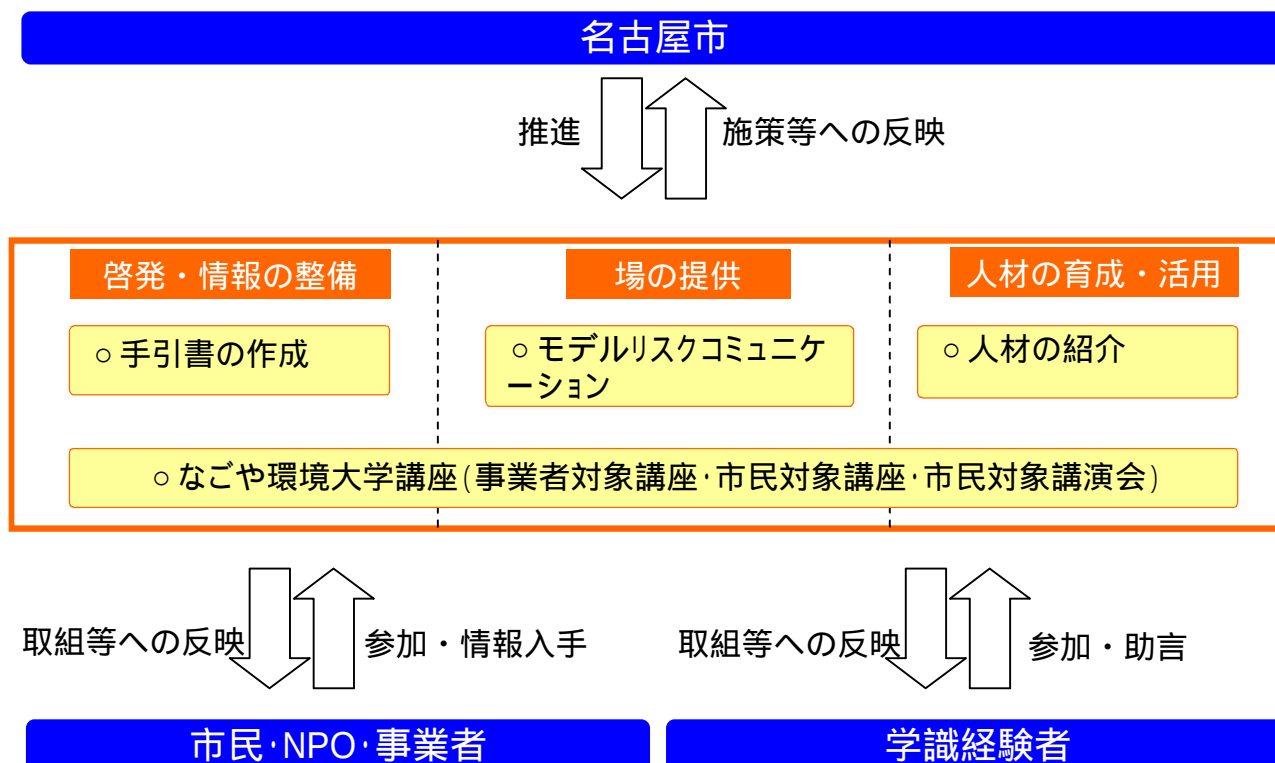
リスクコミュニケーションの普及について（案）

1 普及の目的と問題点



2 当面の普及策

（１）全体像



(2) 具体策

ア 手引書の作成

【事業者向け】

項目	内容
名称	なごや発「化学物質のリスクコミュニケーションのすすめ」(仮)
目的	・リスクコミュニケーションの普及啓発 ・リスクコミュニケーションを行う際に参考になる具体的なマニュアル
内容	・リスクコミュニケーションの基礎知識 ・具体的なリスクコミュニケーションの方法(参加者の選定、資料作成など)
普及方法	・冊子の作成配付(PRTR対象事業者に送付、講座等で配付・説明) ・市公式ウェブサイトで公開
作成時期	平成20年3月頃

【市民向け】

項目	内容
名称	なごや発「化学物質のリスクコミュニケーションのすすめ」市民版(仮)
目的	・リスクコミュニケーションの普及啓発 ・近隣の工場とコミュニケーションを行う際に参考になるマニュアル
内容	・リスクコミュニケーションの基礎知識 ・具体的なリスクコミュニケーションの方法
作成時期	平成20年度以降
その他	別途、化学物質一般のパンフレットを作成

イ モデルリスクコミュニケーション

項目	内容
企画・運営	事業者、名古屋市
目的	・事業者がリスクコミュニケーションを行う際のモデルとする。 ・リスクコミュニケーションを行う場の提供と支援を行う。
内容	工場見学、環境への取組み報告、意見交換など
参加者	意見交換参加者 事業者、市民(地域住民)、行政、ファシリテーター、インタープリター
	傍聴者 なごや環境大学講座受講者、一般公募
開催回数	年2回程度
その他	・ファシリテーター、インタープリター等の人材の育成や経験の場としても活用

ウ 人材の紹介

リスクコミュニケーションを行いたい事業者等へ人材の紹介を行う。

人材	選定方法等
ファシリテーター	・リスクコミュニケーションにおけるファシリテーターの経験のある方の情報を収集 ・ファシリテーションの技術を持つ方に、リスクコミュニケーションを経験する機会を提供
インタープリター	・化学物質アドバイザー、環境カウンセラー制度を活用 ・簡単な工場見学会等であれば、名古屋市職員

エ なごや環境大学講座

【事業者対象講座】

項目	内容
企画・運営	名古屋市
受講対象	化学物質を取扱っている事業者
目的	・リスクコミュニケーションの重要性の認識 ・事業者内リスクコミュニケーション担当者の育成
講師	学識経験者、化学物質アドバイザー、名古屋市など
内容の例	・化学物質の適正管理（PRTR 制度等）について ・環境コンプライアンスについて ・「リスクコミュニケーションのすすめ」を読む ・リスクコミュニケーションの実例について
開催回数	3 回程度

【市民対象講座】

項目	内容
企画・運営	懇談会市民・NPO 委員、名古屋市、事業者
受講対象	化学物質に関する環境活動を行っている又は行いたい市民・NPO
目的	・リスクコミュニケーションの重要性の認識 ・対話を推進する、又は市民の啓発をリードする人材の育成
講師	学識経験者、懇談会市民・NPO 委員、名古屋市、事業者
内容の例	・リスクコミュニケーションを知ろう ・リスクコミュニケーションを行いたい事業者（工場）はどこ？ ・「リスクコミュニケーションのすすめ」を読んでみよう ・環境報告書を読んでみよう ・工場の化学物質管理の現場を見に行こう
開催回数	4 回程度

【市民対象講演会】

項目	内容
企画・運営	名古屋市
受講対象	一般市民
目的	・ 化学物質のリスクに対する理解と関心の向上 ・ リスクコミュニケーションの重要性の認識
講師	学識経験者、化学物質アドバイザー、名古屋市など
内容の例	・ 身近な化学物質によるリスクについて ・ リスクコミュニケーションとは？ ・ PRTR データを読み解いてみよう

3 数年後の普及策

なごや環境大学講座での情報の提供や人材の育成などは、将来的に推進組織に発展することも想定して、進めていくこととする。

